

館の運営方針	佐倉市立公民館活動計画を基本として、地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努める。
ジャンルの目標	
親子遊び、友達との遊びやものづくり、自然との触れ合いを通して、幼児期の創造力や豊かな心を育てる。また、保護者も子育てについて共に考え、学び、家庭の教育力の向上も図る。	

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	親子遊びのつどい	子育てにおける家庭の働き、あり方や子どもの発達に必要な事柄を親子遊びを通して学習する。また、幼児が点在し少ない弥富地区において子どもと保護者双方の交流の場とする。
②	家族で遊ぶ	友達と遊ぶことの楽しさ、大切さを学ぶとともに、保護者も子育てについて考え、学習する。また、休日に実施することによって父親の子育て参加を促し、家族で触れ合える機会を提供する。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	A	A:各個別事業の想定課題は正しかった。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	A	A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策		親子遊びの集いの参加者が減少していることから、募集方法等について検討が必要。
改善	次年度への課題と展望策	B	A:事業拡大。 B:現状規模での継続。 C:事業縮小。 D:目的達成により終了。 E:統合・改善・その他 ( )

総合評価		成果
A	事業規模 A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。	地域内には幼児の数が少なく、居所も点在している状況にある中で、子どもと保護者の双方ともに交流が図られた。保護者間では育児関連の情報交換も行われた。また、子ども同士の遊びやものづくり、自然とのふれあい等、家庭ではできない体験をとおして、親子のかかわりと絆、子ども同士のかかわり等を学ぶことができた。
		課題 地域内の対象者が少ないことから、昨年度より対象範囲を市内全域に広げて募集しているものの成果があまり上がらなかった。今後は、参加しやすいようなカリキュラムと広報を検討していく。

ジャンル	家庭教育
事例発表の事業	親子遊びのつどい

★公民館運営審議委員意見

委員①	★ジャンルについて 少子化・核家族化の中で、一人で育児に取り組んでいる、若い母親世代にとって不安になりがちな育児を支え、子どもと親のつながりを育てる分野であり、大変有意義なものと感じました。 ★事例発表の事業について 幼い子どもたちと母親たちが楽しく遊びながら、子どもや母親とおしの交流が図れる企画と思いました。地域の幼い子を持つ母親の輪を作り、子育てに対する悩み等を共有できる貴重な機会づくりになっていると思います。
総合評価	A

委員②	★ジャンルについて 発達を学ぶ、友達を作るなど家庭の教育力を上げる意味で、人数が少ない中で貴重である ★事例発表の事業について 専門家の話や、みんなでやれる内容がよい。
総合評価	A

委員③	★ジャンルについて 早期の家庭教育の実施ありがとうございます。人数・参加者が少ないことは気にかかります。早期の開催をお願いします。 ★事例発表の事業について 事業内容は、12回と、どの講座も親子で学べる楽しい講座となっています。参加者が増えるようお願いします。
総合評価	A

委員④		<p>★ジャンルについて 子どもの好奇心を育むことはとても意義のあることだと感じます。</p> <p>★事例発表の事業について 専門家の方の話など、とても良いと思います。これからも頑張ってください。</p>
総合評価	A	

委員⑤		<p>★ジャンルについて 親子で共に学び体験し、参加者との交流ができる場として良い。</p> <p>★事例発表の事業について 幼稚園・保育園に入園するまでの親子は孤立しがち。同じ年齢の子どもということで保護者同士も共通の会話が生まれる。年間を通じてのコースで、季節感のある事業が組み込まれており、参加者は1年間一緒に楽しんだという事で交流回数も多く良い事業であったと思う。今後も継続を望む。また、土・日コースがあれば母親が働いている親子も参加できるのでは。良い企画であるので参加者増に繋がるようにPRを工夫してはどうか。</p>
総合評価	A	

委員⑥		<p>★ジャンルについて 超高齢「地域」社会「超」少子化社会である地域であるからこそ、公民館の「家庭教育」活動は、いわゆる「まち場」よりも、より深刻なテーマであるのかもしれない。人口が少なく、また「集落」が分散していることから、地域活動も難しいとは思いますが、「まちづくり活動」が活発になっているなど、新しい動きも芽吹いていることに期待が寄せられているのではないのでしょうか。そのような中で、地域住民の交流に公民館活動が大きな力になっているのは確かです。学校教育と同様、対象範囲を市内全体に広げて募集したにも関わらず成果が上がっていないとのことですが、まずは地域の中での取り組みであるべき面もあることから、地域外からの参加を特に課題として捉える必要はないと思います。何よりも、自己評価にある「家庭ではできない体験をとおり、親子のかかりと絆、子ども同士のかかり等を学ぶことができた」ということを評価すべきであり、評価されるべきであると思います。さらに進む少子化・人口減少の中で、公民館活動がいかにあるべきか、これからますます問われてくると思われまじし、期待もされてくると思います。家庭教育力の向上、地域社会の活性化に向けて期待しています。</p> <p>★事例発表の事業について 自己評価にあるように、子ども同士・親子同士の交流の場を作ることができたことは確かな成果であると思います。和田地区も同じような地域特性や課題があると思いますが、和田公民館子育て教室と連携し、弥富公民館・和田ふるさと館で各1回の合同事業に取り組みされたことは、とても興味と意味のあることだと思います。事業プログラムは実に充実していると思います。参加者が少ないのは残念ではありますが、地域のことを考えると、参加者が少なくても、いつでも公民館には、地域の親子を支援する場が用意されているということ発信し続けることが最も大切なことだと実感させられます。参加者の「小さい子同士の交流があったかった」という声は、このような充実したプログラムがあればこそだと思います。是非、回数を減らすことなく継続して欲しいと思います。和田公民館との一層の連携強化にも期待します。</p>
総合評価	A	

委員⑦		<p>★ジャンルについて 地域内の対象者が少ないことに加え、保護者の就労等で保育園に入園するケースもあり、参加人数が少ないことが課題となっていますが、他の施設との合同活動にするなど工夫がみられます。 事業に父親や兄弟等の家族が関わる機会を設けることにより、目標にあるように「子育てについて共に考え、学び、家庭教育力の向上も図れる」機会を引き続き事業に取り入れて頂きたい。</p> <p>★事例発表の事業について 近隣に同年齢の子どもが少ない地域で、参加した保護者はたくさんの友達やママ友が出来るだろうと期待していたでしょうが(参加人数が少なく寂しかったと感想)、家事や雑用から離れ子どもと触れ合う時間が持てるのは貴重であると思います。</p>
総合評価	A	

委員⑧		<p>★ジャンルについて 地域内には幼児が少なく居所も点在している中で子ども達と保護者の交流が図られ、また、保護者間での情報交換ができたことは、貴重な体験である。地域内の対象者が少ないことから、応募方法やカリキュラムを検討し、より一層充実した事業を展開することを期待します。</p> <p>★事例発表の事業について 親子との遊びを通じて子育てのあり方や育児に必要な事柄の学習であるが、地域内では、幼児が少なく参加者確保に苦慮している。しかし、参加者からの好評を得られたことは効果があったと思います。「親子あそび」の目的にやや反するが、地域在住者、馬渡保育園の園児や弥富幼稚園の園児との3者による合同開催は出来ないか？。参加者集めに一考を要します。</p>
総合評価	A	

委員⑨		<p>★ジャンルについて 幼児が少ない地域であるからこそ、とても大切な事業であると感じる。子どもとその保護者だけでなく様々な世代を巻き込む家庭教育、そしてこの地域のよさを伝え続けていける事業の継続を望みたい。</p> <p>★事例発表の事業について 対象者を2・3歳児、夏休みにはお兄さんお姉さんへの参加の呼びかけ、和田公民館との共催など様々、努力されていると思う。保育園に預けるご家庭が多くなっているとのことだが、地域のよさを他のエリアにも発信でき、他の地域の子育てをしている方々とも交流できることの意味は大きいと感じる。</p>
総合評価	A	

委員⑩		<p>★ジャンルについて 幼児を抱えた保護者の中で、子育てに苦労されておられる方のことを考え、幼児や保護者同志が触れ合いながら、幼児の発育を考えられる場を提供することは素晴らしいことと思います。</p> <p>★事例発表の事業について 「親子あそびのつどい」は、幼児同志はもちろん、保護者同志の触れ合いも十分に考慮された実施内容で、素晴らしいと思います。地域の特性で参加者が少ないことを考えると、他の公民館との合同実施をさらに増やして行くべきだと思います。</p>
総合評価	A	

委員⑪		<p>★ジャンルについて 公民館の家庭教育事業については、参加対象者の減少傾向の悩みを抱えながらも事業内容も多彩でよく頑張っていると思います。地域にある馬渡保育園との共同事業として、又、和田公民館との共催事業として生き残りを図って貰いたいと思います。</p> <p>★事例発表の事業について 親子あそびのつどいについては、対象者が参加しやすい実施時期の設定(実施曜日・時間帯・実施回数)や、募集方法等を工夫して魅力ある公民館事業を継続して実施して欲しい。</p>
総合評価	A	

委員⑫		<p>★ジャンルについて 和田公民館との共催については、複数回、複数年継続して実施され、工夫を重ねて道を探られるよう期待したい。</p> <p>★事例発表の事業について 子育てでは体とともに心を育てることが大事で、多彩なカリキュラムが用意、展開されていると思う。広報活動に工夫が見られた。課題として「気軽に参加できるよう実施時期、回数を見直す必要」があげられていたが、場所の工夫もあってよいのではないかな。</p>
総合評価	A	

委員⑬		<p>★ジャンルについて 近所付き合いが疎遠になっているので、親子が他の家族と交流を計るのは大変良いコミュニケーション作りになると思います。家族が他の家族と交流するので、一つの家庭教育ではなく社会教育になると思われます。</p> <p>★事例発表の事業について 参加人数が少なかったのは期間が長かったからだと思います。9カ月に亘るのは親にとって制約されます。4カ月とか6カ月に集中して行ってはと思います。(間に1日土曜日を入れるとか)</p>
総合評価	A	

委員⑭		<p>★ジャンルについて 歴史・文化・スポーツ等とあまり大上段に構えず、絵本の読み聞かせや音楽を通して子ども同士の触れ合いを図り、広い好奇心を養うことが大事。</p> <p>★事例発表の事業について 少子化の影響による参加人数の減少を、他の地区とのタイアップによりカバーすることも考えてよいのではないかな。</p>
総合評価	A	

委員⑮		<p>★ジャンルについて 他の公民館と同様に親子の交流の場を設けることは大切なことである。家庭教育に公民館が果たす役割は大きいので継続すべきである。</p> <p>★事例発表の事業について 開催場所を公民館、ふるさと館等で開催したことに関係者の熱意と努力が伝わってきた。幼児の少ない地域の特性から、次年度以降試験的に他の公民館、図書館等と合同で取り組んではどうだろうか。</p>
総合評価	A	